

小中学生フリーアンサー キーワードの抽出

【1】テーマごとのまとめ（要点）

1 商業・サービス業の充実

- ・ 娯楽施設（遊園地・ゲームセンター・モールなど）が少なく、子どもが楽しめる場所が不足している。
- ・ 日常の買い物に便利なスーパーやチェーン店が少なく、生活利便性が良くない。
- ・ 市外へ買い物や遊びに出かける必要があり「市内で完結できない不便さ」が課題
- ・ 商業施設の不足は若者の定住や市の賑わい不足につながっている。

2 観光・交流の促進

- ・ 花火大会や祭りなど、イベントをもっと増やして賑わいをつくりたい。
- ・ 観光地や観光資源を整備し、外から人を呼び込めるようにしたい。
- ・ 外国人に分かりやすい標識や案内を整備して、観光にやさしい環境を整える必要がある。
- ・ 海外との交流や文化的なつながりを広げたいという意見もある。
- ・ 「玉野ならではの魅力」を発信し、地域の特色を強化することが求められている。

3 交通・道路整備

- ・ バスや電車の本数が少なく、通学や日常生活で不便を感じている。
- ・ バスの料金が高く、利用しづらい。
- ・ 新しい駅や路線の整備を望む声がある。
- ・ 交通事故防止のため、信号の設置や道路整備を求める意見が多い。
- ・ 自家用車に頼らずに移動できる公共交通網が必要

4 高齢者・障がいのある人への支援

- ・ 高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる環境を整えてほしい。
- ・ 段差のない道路や建物など、バリアフリー化が求められている。
- ・ 困っている人を助ける「やさしさ」を大切にする意識が強い。
- ・ 制度的な支援と地域の思いやりを両立させることが課題

5 住民同士の助け合い・地域交流

- ・ 「あいさつを大切にするまち」にしたいという願いがある。
- ・ 地域行事やボランティア活動を通じて、人と人がつながることを望んでいる。
- ・ 優しさや協力の心を持ち、困ったときに支え合える地域を求めている。
- ・ 地域のつながりが希薄化していることへの不安が背景にある。

6 教育・学校環境

- ・ いじめをなくし、安心して学校に通いたい。
- ・ 困ったときに相談できる先生が必要
- ・ 通学を安全にするための交通対策が必要
- ・ 少子化で学校が統合されることへの不安が強い。
- ・ 教育格差をなくし、すべての子どもが同じように学べる環境を整えたい。
- ・ 給食や部活動など、日常の学校生活をより良くしてほしい。

7 文化・伝統の継承

- ・ 祭りや伝統行事を絶やさず続けていきたい。
- ・ 地域の文化を守り、次の世代へ受け継ぎたい。
- ・ 玉野の伝統や文化を市外、全国に広めたい。
- ・ 過疎化や少子化で文化が途絶えることへの危機感がある。

8 自然環境・景観の保全

- ・ 花や緑の多い、美しいまちにしたい。
- ・ 動物に優しいまちづくりを望む声がある。
- ・ 自然を壊さず、未来の世代に残したいという意識が強い。
- ・ 開発と自然保護のバランスをとることが課題

9 環境美化

- ・ ごみのポイ捨てをやめて、清潔なまちにしたい。
- ・ 清掃活動やリサイクルなど、自分たちにできる活動を大切にしたい。
- ・ 花壇づくりやポスターで呼び掛けるなど、啓発活動を望んでいる。
- ・ ごみの分別や海岸の清掃など、具体的な取組も提案されている。
- ・ ごみ問題にはルールや罰則を導入して対策すべきという意見もある。

10 人権・思いやり

- ・ いじめや差別をなくしたいという意識が強い。
- ・ 困っている人を助け合える社会にしたい。
- ・ それぞれの意見を尊重し合える関係を望んでいる。
- ・ やさしさや思いやりを大切にすることがまちの魅力につながると考えられている。

11 安全なまちづくり

- ・ 交通事故をなくすために、信号や道路整備を進めてほしい。
- ・ 犯罪を防ぐために、地域のパトロールや防犯対策が必要
- ・ 街灯を増やして、夜でも安心して歩けるようにしたい。
- ・ 災害に備える防災体制を強化してほしい。
- ・ 野生動物とのトラブル対策を求める意見もある。

12 ルール・マナー

- ・ 社会のルールやマナーを守ることの大切さを訴える声が多い。
- ・ 特に交通ルールを守って事故を防ぐことが求められている。
- ・ 公共の場でのマナーを守り、みんなが気持ちよく過ごせる環境をつくりたい。
- ・ 社会規範を意識する教育や啓発活動が課題

13 その他

- ・ 子育て世代を支える制度や仕組みを強化してほしい。
- ・ 公園や遊具を増やし、子どもが安心して遊べる場所をつくってほしい。
- ・ 人口減少や少子化を止める工夫が必要
- ・ 若者の雇用や給料水準を改善し、定住を促すことが課題
- ・ 農業を活性化し、地域産業を盛り上げたい。
- ・ 玉野市の魅力を広くPRして、人や企業を呼び込みたい。
- ・ 無駄を省き、効率的に税金や財源を使うことも求められている。
- ・ SDGsの理念を取り入れて持続可能なまちづくりを目指したい。

【2】「貧困」「ヤングケアラー」「ひきこもり」「子育て支援」の視点によるキーワードの抽出

1 貧困

- ・ イオンや大きな商業施設をつくって働く場所を増やす。
- ・ 働く人を増やして人口減少を防ぐ。
- ・ 若者や働く場所がなくならないようにする。
- ・ 税金をもっと良いことに使ってほしい。
- ・ みんなが幸せに暮らせるようにする。

[ポイント]

- ・ 雇用や所得確保、生活の安定に関する声が含まれており、経済的困窮や将来の生活不安への関心と関連

2 ヤングケアラー

- ・ 困っている人を助けるまちにしたい。
- ・ みんなで協力して助け合う地域にする。
- ・ ボランティア活動に参加しやすくする。
- ・ 高齢者や障がいのある人が過ごしやすいまちにする。

[ポイント]

- ・ 「ヤングケアラー」という言葉は直接的には出ていないが、家族や地域での介護、支援する負担を社会で分かち合う必要性

3 ひきこもり

- ・ いじめをなくす。
- ・ 差別をなくす、相手を尊重する。
- ・ 一人ぼっちにしない。
- ・ 学校が楽しい場所になるようにする。
- ・ 安心して暮らせる、安全なまち

[ポイント]

- ・ 孤立や不登校につながる 人間関係、心理的な壁をなくしたい思いが出ており、ひきこもりの予防や居場所づくりに関係

4 子育て支援

- ・ 子どもを産み育てやすいまちに
- ・ 子育てに優しい環境
- ・ 安心して遊べる場所を増やす。
- ・ 人口を増やして活気のあるまちにする。
- ・ 学校や部活動の環境を整える。

[ポイント]

- ・ 少子化や子育て環境の改善、子どもがのびのび育つ場へのニーズが多い。

[まとめ]

- ・ 「貧困」→ 雇用・所得の安定
- ・ 「ヤングケアラー」→ 支援の分担・地域の助け合い
- ・ 「ひきこもり」→ 孤立防止・居場所づくり
- ・ 「子育て支援」→ 出産・育児環境、遊び場、学校の充実